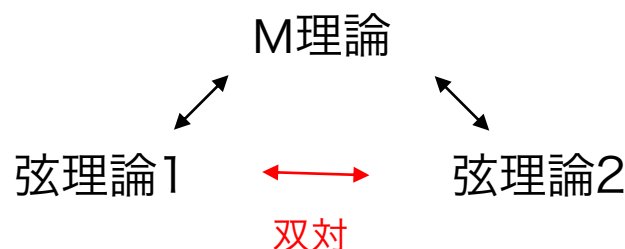


クラインの壺にコンパクト化されたM理論と双対な弦理論

発表者: 和田博貴 (大阪大学)

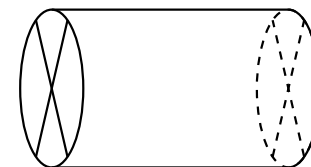
山口哲氏との共同研究

◎ M理論: 弦理論の双対性を見つける上で有用



・ クラインの壺の上のM理論に注目 ➡ 複数の Pin^+ 構造

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{IIB}/(-1)^{F_L} S_9 \longleftrightarrow \text{IIB}/\Omega S_9 \\ 0\text{B}/(-1)^{F_L} S_9 \longleftrightarrow 0\text{B}/(-1)^{f_R} S_8/\Omega S_9 \end{array} \right.$$



・ D-braneのスペクトラムを議論